

＜事業目的＞

2025年大阪・関西万博の開催を前に、世界が再び大阪に注目するこの機会をとらえ、1970年大阪のレガシーや、万博記念公園の魅力等を紹介する展示等を含むイベントを行うことで、万博記念公園のさらなる活性化と来園者増につなげるとともに、「人類の進歩と調和」をテーマとした大阪万博と、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした2025年大阪・関西万博との共通性・連続性を発信することで、2025年大阪・関西万博の機運醸成を図る。

1970大阪万博展覧会

東京都をはじめとした大阪府以外の複数都市において、大阪万博のレガシーや電子化された資料の展示し、2025年大阪・関西万博への認知度が低い万博記念公園に来園したことがない人が、万博や万博記念公園に興味を持つきっかけとなるようなイベントを実施

【福岡会場】

「Re:PLAY パビリオン・パンフレット・アーカイブ」

会場：チャンネルシティ博多 センターウォーク 5F

期間：3/1(金) - 3/3(日) (3日間)

内容：会場模型や各館のパンフレット、コスチュームなどを展示。

来場者がパンフレットを自由に見られるデジタルコンテンツを作成。



【兵庫会場】

「Re:PLAY エキスポ・ポスター・アーカイブ」

会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)1F ギャラリー-B

期間：3/9(土)・3/10(日)、3/12(火) - 3/14(木)

内容：ポスターやパネル約90点を展示。

展示空間は、大阪万博のパビリオン「タカラ・ビューティリオン」がモチーフ。



【東京会場】

「Re:EDIT 702024」with Generative AI

会場：寺田倉庫 G3-6F

期間：3/16(土) - 3/17(日)

内容：70年万博の映像資料等を元に、最新のテクノロジーである生成AIによって当時のパビリオンを新たに表現するなど、大阪万博のアーカイブを再解釈したデジタルコンテンツによるライブパフォーマンスを実施。



アート&サイエンスフェスティバル

大阪万博では、各パビリオンにおいて、アート&サイエンスの作品等が展開されていたことから、大阪万博や、大阪万博から2025年大阪・関西万博につながるテーマを基に、テクノロジーを表現手段として用いて、新たな万博記念公園や万国博覧会の魅力を発信する作品を展示

開催日：3/9(土)～3/12(火)、3/14(木)～17(日)

【メイン会場】 EXPO'70パビリオン（本館・別館）

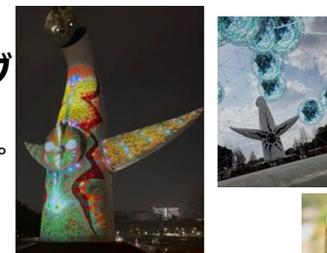
生成AIとロボットアームによる空間絵画システム作品と、大阪万博の音声と映像を同時に体感するインスタレーション作品



【サブ会場】自然文化園内各所

○太陽の塔プロジェクションマッピング

高さ60m×幅60mの迫力の映像と音響の3 DCGのハイクオリティブプロジェクションマッピング。



○AR ART

アプリを用い、大阪万博のレガシーをポイントとして、リアルタイムでARオブジェが出現。



○ウォーターアートプロジェクション

夢の池を舞台に、幻想的な作品を展開。



○作品展示（盆栽、アイアンアート）

大阪万博や大阪万博から2025年大阪・関西万博につながるテーマの作品を展示。



盆栽



アイアンアート